

わんぱくぱんだ 5

新しい生活にも慣れ、日々、たくましく成長していることを感じています。進級や、新しい生活環境からの緊張も、解け、楽しかった連休も終わりました。この時期には、体調を崩しやすい子どもたちが多くなります。ゆとりと、生活しながら、体調管理に配慮していきたいと思っております。



* 保育参観では、お忙しい中、お越しいただき、ありがとうございました。昨年と比べ、はじめをつけて活動に取り組む姿や、堂々と発表する姿から成長を感じていただけたのではないかと思います。

- 系者に作ったハンガーは、毎日スモックをかけ、大切に使っています!

• ぱんだ組になり、園外に出掛けることが増え、その先で、改めて、ぱんだ組の子どもたちの人懐、こさを、感じました。「こんにちわ!!」と元気に挨拶し、「何しとるんですか?」と話しかけ、盛り上がる場面が見られました。しかし、その中で大人の人への接し方について、少し気になりました。初対面の方に対しても、子どもたちは、遊んでいるつもりで、からかたり、良くない言葉遣いで話す姿が見られました。園では一度、クラスで考える時間をつくり、話しましたが、ご家庭でも、改めて、大人の方への話し方について、見直していただけると嬉しいです。

6がつ

5.8.10日 個人懇談 ※日時各自確認下さい

12日(金) 蟻虫検査 持帰り

8日(月) 体操教室 ※制服 16日(火) 蟻虫検査 提出

9日(火) 歯科健診 30日(火) お誕生会

11日(木) 内科検診

アリのかんさつ

4月の後半から、アリの観察に夢中になっていた、子どもたちと担任。ある日、『アリの巣の中、てどうな、とんやろお?』という、ふとした言葉から、アリを飼、てみることにになりました。

第1回目・・・残念ながら、エサを入れていなか、た為、全員死んでしま、ていました...



・大きいアリ
・エサ: なし

→ それから、アリが何を食、えるのか実験!!
ラムネ△ センべい× 虫さん○ 等
→ その実験中、葉保子先生から、小さいアリは、甘いものが好きだと聞きました。

→ よし!! 今度は、砂糖をエサにして、小さいアリさんを飼、てみよう!!

第2回目・・・次の日、ドキドキしながら、容器の中を覗き込むと...



・小さいアリ
・エサ: 砂糖

アリたちは、元気に働いており、なんと、巣も、作り始めていたのです!!
→ でも、子どもたちからすると、容器の関係で、あまり中の様子が見えず、いまいち、ピンと来ないようでした。

→ 今度は、中の様子が、よく見えるようにするには、どうすれば良いか考え中です。

エピソードきろく

普段は、アリを捕まえて遊んでいる、Aくん と Bくん が、この日は、捕まえずに、じ、と観察をしていました。

- Aくん 「この穴は、あんま入らんね」
- Bくん 「ここは赤ちゃんアリのお家やで」
- Aくん 「なあ、ここは砂糖持、ったアリが出てくるで」
- Bくん 「ほな、工事中なんとちゃう?」
- Aくん 「あ、そうかもしれん!!」

何気なく見ているようで、子どもたちは、そこから情報を得たり、観察力を養、たりしています。